

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4091800237
法人名	社会福祉法人グリーンコープ
事業所名	グリーンコープグループホーム飯塚・和(のどか) (ユニット名 1)
所在地	飯塚市潤野967番地13
自己評価作成日	平成25年10月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グリーンコープグループホーム飯塚・和(のどか)は市街地そばの寄りつきの良い所にあります。近くには小、中、高校やスーパー、公民館等があり散歩をする色々な層の人と挨拶を交わしています。グループホームが出来て5年目となり地域とともに暮らす「のどか」になってきました。町内の夏まつりに参加させてもらったり、のどかでの行事に近所の方をお誘いしたりしています。また、運営推進会議に老人会会長や民生委員の方の参加を頂き、ますます地域に密着した「のどか」になってきました。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/40/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人福岡県介護福祉士会
所在地	福岡市博多区博多駅前中央街7-1シック博多駅前ビル5F
訪問調査日	平成25年11月16日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

建物全体がゆったりとした作りで、広めのデイルームには暖かい日差しが入り、利用者がくつろげる空間になっている。居室内には、車いすでも十分利用できる広さのトイレや、すぐにお湯が出る装置を付けた洗面所があり利用者や家族から好評を得ている。また、掃き出し窓が大きなガラス張りになっており、利用者が外を眺めて気分転換ができる。これらは、代表者や管理者が、利用者に最後まで生活してもらうことを考えて施設作りを行ったもので、事業所の一番の特徴になっている。ハード面の充実だけではなく、管理者は、利用者いかに毎日楽しく生活していただくかを、職員と一緒に考え実行していくという姿勢を創設時より継続しており、職員みんなで利用者を支えている事業所である。今後、さらに期待できる事業所である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~57で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
58 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:25,26,27)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	65 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,21)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
59 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:20,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	66 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,22)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
60 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:40)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 運営推進会議を通じて、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
61 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:38,39)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:51)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	69 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:32,33)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	70 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
64 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:30)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	のどかの開所時に職員全員で作った「のどかの理念」を常に目に入る所に掲示して実践を心がけたケアをしている。	理念はデイルームの目立つところに掲示しており、職員は、常に理念を見ながら援助を行っており、十分理解している。開設時に作成した理念であるが、新しい職員にとっても十分理解できる内容であり、随時話し合っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、回覧板を利用者と一緒に届けに行ったり、散歩時には挨拶をして顔なじみの方々もいる。地域の行事にも積極的に参加している。のどかでの行事にもお誘いして参加いただいている	近くにある公民館で開催される「いきいきサロン」に出かけていき、一緒に体操やゲームをしたり、夏祭りでは唐揚げやそうめんを食べるなど多くの行事に参加し、地域との交流をしている。近くを散歩しているときに声かけもあり、地域の一員としての日常的交流もある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	行事があるたび地域の方をお誘いし、交流の場を作っている。来年は認知症の勉強会を考えている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議ではのどかの報告を行い、ご家族、利用者代表、民生委員、老人会会長等からも意見を頂き職場会議などで取り上げて改善に取り組んでいる。	運営推進会議は2ヶ月に1回開催されている。今年は暑さ対策や感染予防について意見を聞き、エアコンの温度調節をこまめにし、水分摂取に努めたので、体調を崩すことなく夏を乗り越えることができた。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議に市介護保険課の職員に参加してもらい、事業所の実績やケアサービスの取り組みを伝えている。分からない時はいつでも市介護保険課に尋ねたりできる関係性をもっている。	管理者が市の「地域多機能型サービス事業所連絡協議会」の役員を務め、情報のやり取りなど、協力関係を築いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービスにおける禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	3月に行った避難訓練で各室のサツンの開放の提案が上がり、家族会で了解いただき職場会議で開けることにした。玄関や居室の力ギはしていない。職場会議などで話し合いを持ち身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	職員からの提言で掃き出し窓の鍵をいつでも開けられるようにしたところ、居室から出て敷地内の散歩を楽しめるようになった。職員の見守りとさりげない声かけを行いながら、活性化につながられた。身体拘束に関する内部研修を行っており、職員は身体拘束だけでなく言葉の拘束があることも理解している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止のマニュアルを作り職場会議で取り上げて話し合いをしたり、市の介護相談員を受け入れてアドバイスをいただき虐待が起こらないように防止に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8	(6)	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	今年11月に市地域密着型事業所で研修があるので受けて職員に媒介する予定 ご家族にも成年後見制度などについて照会したいと思っている。	家族にはパンフレットを渡して説明をしている。理解している職員と言葉は聞いたことがあるという職員がいるが、家族に聞かれたときに管理者に伝えるだけでなく、説明できるようにしたいという思いがある。管理者は職員に講習を行う予定である。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結、解約または改定時は利用者や家族に説明し署名捺印をもらっている。		
10	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置しご家族や見学者からの意見を聞くようにし、行事後家族会を開き、ご意見、ご要望を聞いている。 また、介護相談員からも助言をいただいたりしている。	家族の訪問時は、必ず話を個別に聞くようにしている。「毎月のご様子」を各担当者が記入し、日常の様子を細かく書いて送っているためか、意見箱を設置しているものの、要望が入ることはない。利用者家族のギターやハーモニカと職員のピアノとで演奏会や合唱を定期的に開催して交流を行っている。	
11	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月職場会議を開き運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設けている。	管理者からは、職員に経営状態について説明がある。職員が職場会議で、職員の写真と名前をボードにして掲示してはどうかと提案したところ、すぐに了解してもらい、手作りのスタッフボードを廊下に貼り出した。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職場の環境を整備したり、資格修得に向けて受験対策講座を開いたり、給与の検討をする会議を開き各自が向上心ややりがいを持って働けるようにしている		
13	(9)	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮し活き活きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保障されるよう配慮している	現在19歳から71歳までの職員が働いている。人生経験を豊富に持つスタッフを大切に、65歳以上であっても働ける環境作りをしている。また次を担う職員の育成にも努めている。	採用面接は管理者と代表、介護職のリーダーが行っている。人柄の適性を採用基準にしている。長く勤めてもらえるように、その人に合わせた勤務時間帯や勤務時間数を考えている。食事時間以外に1時間の休憩時間が取れるように整えてあり、休憩室にもベッドを置くなどの工夫をしている。	
14	(10)	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	毎年人権研修を行い、研修のレポートも提出している。11月に人権研修があるので参加して職員に媒介する予定	法人は人権問題に熱心に取り組んでおり、管理者が法人主催の研修に参加し、職員にきちんと伝達研修を行う方法で人権教育に取り組んでいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	キャリアパスの導入を行い、計画的に研修の実施を行っている。		
16		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グリーンコープ内のグループホーム、小規模多機能職員が集い研修を行った。今年は接遇やサービス向上について勉強をしたり意見交換をした。また市の地域密着型サービス事業所協議会に参加し同業者の研修をしている		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
17		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用に至る前にご本人と面接をさせていただき、不安や要望を聞き、ご本人の希望や思いを大切にしながら、安心した生活が出来るように努めている。		
18		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族にも面談を行いグループホームを希望された経緯やご家族の思いを受け止めるようにしている。		
19		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居申し込み時にご家族やご本人と面談を行いグループホームの生活になじめるよう、他のサービスの利用も含めて話をしている。希望者に理髪、訪問歯科、通院等の対応をしている。		
20		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の状態に合わせて、それぞれが出来る家事をされたり、時には、ご利用者が見守りや声かけをして他のご利用者に気を配られることもある。		
21		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	バスハイクや誕生会、敬老会他、催しものには必ずご家族にも声掛けし、一緒に参加していただいたり、受診の際にも必要時に来ていただいたり、衣替えなどスタッフと一緒にされる。9月には家族有志の方と職員でユニットを組んで音楽会を開いて皆様と楽しんだ		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22	(11)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	訪ねて来られる友人、知人等と和やかに過して頂けるようお茶やお菓子等準備し、ゆっくりとくつろいで頂けるようにしている。ご希望の方で馴染みの美容室へ行かれた	近所の方が来られると昔を思い出すこともあり、職員が利用者の気持ちを受け止め対応している。お墓参りやかつての自宅の近くを散歩するなど、馴染みの環境を大切に支援している。その他外出では家族が連れて行き、帰りは迎えに行くなど臨機応変の対応もしている。	
23		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	干し柿作り、調理の下ごしらえ、洗濯たたみや掃除等、出来る家事を皆で助け合いながら行い、終わると、お茶を頂いたりした、お互いが労をねぎらえるような関係を築いている。		
24		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院退所された方や退所後お亡くなりになった方等その後の様子を尋ねたり、初盆のお参りをさせていただき、ご家族とお話する機会を頂いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
25	(12)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人の日頃の暮らしぶりや言動、ケアマネ、ご家族やスタッフからの情報等で、希望や意向を把握し、お気持ちに添えるよう努めている。	職員は日々利用者と接する中で、本人の希望や意向の把握に努めている。意思表示が困難な利用者には、表情や行動から、また、家族の訪問時に相談したりして本人本位に検討している。	
26		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントを基本にし、ご家族や友人、知人からの情報やご本人の会話の中からこれまでの暮らしぶり等を把握するようにしている。		
27		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	アセスメントやケア会議、モニタリングを行い、ご本人の把握に努めている。管理者、計画作成担当者もケアに入り、介護員からの情報だけでなく、実際の現状を把握するように努めている。		
28	(13)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月ケア会議を開き、各担当者からの情報や意見の交換をし現状に即した介護計画を作成している。	毎月のケア会議で利用者ひとり一人について全職員で検討している。家族には訪問時に話し合ったり、電話等で確認している。かかりつけ医への受診時に意見等を聞き、計画作成担当者が現状に即した介護計画書を作成している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録にケアの実践、結果、気づき等を記入している。また個別の目標を書き込み、評価して介護計画の見直しに活かしている。		
30		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	各担当者とのケア会議や必要時に意見を聞き、ニーズの変化を把握、対応出来るようにしている。		
31		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	いきいきサロンの参加や、飾り山見学、ひな祭り見学等、地域で行われてた夏祭りに参加したり、のどかで催しに近所の方にも声かけして遊びに来て頂くようにしている。		
32	(14)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	各自希望された医師の往診を受けることができるように支援している。	かかりつけ医については、本人及び家族の希望を大切にしているが、8名の利用者が協力医をかかりつけ医として往診を受けている。在宅時からのかかりつけ医を継続されている方は、家族が往診時同行されたり、医師の判断で訪問看護も入っている。他に希望の方には訪問歯科も受診できるようにしている。	
33		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師には週2回入ってもらい健康の管理をしてもらっている。必要時にいつでも相談できる体制を取っている。		
34		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院は最近ないが、入院時はこちらから病院へ情報を提供したり、主治医から連絡してもらってのどかでの生活状態を把握してもらうようにしている。		
35	(15)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族から重度化した場合や看取りの指針について同意をいただいている。現在最高齢の方からのどかで看取りをしたいと言われていたので主治医とも連携をとって支援に取り組んでいる。	本人・家族の希望があれば、協力医の24時間対応の下で看取りを実施している。97歳で看取り希望の方がおられ、事業所ではできるだけ希望に沿いたいと考えている。看取り時の家族の食事や寝具等は希望があれば提供している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
36		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署にお願いし、救急講習をデイのスタッフや訪問介護の職員と共に受けた。毎年受けている。		
37	(16)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練をご利用者も含めて実施している。避難経路の確認や消火の位置、緊急連絡網の確認等を行った。今年センターの防災計画やマニュアルを作り地域との協力体制をとれるようにしている。	年2回運営推進会議終了後、その参加者の見守りの中で避難訓練を実施している。隣家の協力を得て、家の庭まで避難誘導訓練を行っている。訓練実施時に消防署へ書類で参加・指導を依頼したが参加が叶わなかった。スプリンクラーは設置している。備蓄品については、乾パンや飲料水、救急医療品を準備している。	有事に備え、訓練実施時には消防署の指導を得ながら取り組まれることが望まれる。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
38	(17)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	親しみを持って言葉かけしているが常に尊敬の念を忘れず、排泄、入浴、更衣時の配慮等気を付けている。	排泄の失敗等に気づいた時は周囲に気づかれないように声掛けしたり、汚れた衣類等を他の人に見えないように持ち歩くなど、一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねないよう職員間で共有認識と配慮をしている。	
39		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の意に沿わない事は無理じいせず、お気持ちを大切にケアを心がけている。		
40		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者が散歩に出かけたい時等業務優先にならないようにしている。意思表示が出来ない方でも、ご本人に尋ね、表情、動きを観察して対応している。		
41		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自分で更衣される方にはお似合いの服装のアドバイスをし、出来ない方には季節感や動きやすい服を着て頂くように支援している。		
42	(18)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日曜日の昼に食事作りをご利用者とし、メニューを考えたり、買い物に行き、下ごしらえや調理、配膳をしていただいたり毎食後の後片付けやおしぼり作り、おかずのつぎ分け等何かしら関わってくようにしている。	毎朝・夕食は職員が作り、昼食は月曜日から土曜日はデイサービスと同じ献立で食事担当者が作っている。日曜日の昼食は利用者の能力に応じて積極的に職員と一緒に調理している。盛り付けや配膳、下膳、茶碗洗い等も生き生きと行っている。必要な利用者には介助しながら、職員も同じものを共に楽しく摂食している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分量は記録を取り、週に1度体重測定をして増減に注意している。既往症や摂取状態に応じた支援をしている。		
44		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	出来る方にはやって頂き、出来ない方には職員が毎食後必ずしている。歯科往診もあり、助言も受けている。		
45	(19)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	新しく入居された方の紙パンツをはずし、時間ごとにお誘いし失敗を無くした。排泄記録をもとに、時間を見て、声掛けや排泄のサインも見逃さずに誘導し、パットが濡れる前になるべくトイレで排泄出来るように自立に向けた支援をしている。	一人ひとりの排泄チェック表を作成し、トイレでの排泄を誘導している。利用開始時に紙パンツを使用していた方が、布パンツに改善したり、夜間はゆっくり休めるように様子を観察しながら、夜間のみ紙パンツへと改善する等、排泄の自立支援を行っている。	
46		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘解消の為、ヨーグルトや水分補給、果物や野菜の摂取を多くし、室内、戸外散歩等で体を動かすようにしているが、難しい方にはかかりつけ医による薬を投与し対応している。		
47	(20)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	毎日入浴される方や必要時に入浴となる方もおられるが、入浴スケジュールはあらかじめ決めさせて頂いている。バイタルチェックや、ご本人の希望を聞きながら行っている。	2日に1回の入浴を基本としているが、湯の準備は毎日しており、希望があれば入浴できる。拒否があれば無理強いせず時間にずらして声掛けしたり、同性の介護者で対応したりして、個々人に沿った支援を行っている。	
48		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自宅で使い慣れた寝具を持参されたり、これまでの生活習慣を尊重し、ベッドの使用等状態に合わせて準備している。居室の換気や室温にも気を付けている。		
49		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の管理については看護師が管理し、内容や病状が変わる折々に職員に知らせ記録している。 服薬は職員2名で出し入れのチェックをし、服薬ミスを防いでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	おしぼり作りや、テーブル拭き、食事の後片付けや洗濯干し、掃除機かけ等各々が出来る家事に関わって頂き、ティタイムやおやつのお楽しみ、外出や散歩をして気分の転換を図っている。		
51	(21)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	桜やひまわり、コスモス、紅葉等季節を感じる外出には出来る限り全員の方をお連れしている他、日常の散歩時には職員が付き添って出かけている。地域の行事にも参加している。	四季折々の花見や公民館のイベントへ全員で観に行ったり、日常の買い物に出かける等、天気の良い日には積極的に屋外に出るようにしている。門司港に出かけたり、遠方への外出時には家族や職員ボランティアの協力を得て、全員参加で楽しんでいる。	
52		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	殆どの方は金銭管理が出来ないので、買い物は職員とでかけている。パン屋さんが週に1回来る際には、お小遣いから買い物をされる。買い物を希望される方には職員が付き添って行っている。		
53		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	2名の方は居室に電話をひかれている為、友人やご家族から直接かかり、気兼ねなくおしゃべりをされる。施設から連絡を取りたい方にも対応出来るようにしている。年賀状や暑中見舞いなどを字を書けない方には職員が手伝いご家族に出された。		
54	(22)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	出来るだけご本人がお好きな場所で過ごして頂けるようにしている。季節感ホールから外を眺められるようにしたり、室内の飾りや季節の花を生けたりしている。	明るく広い居間には全員が座れるソファ、広い廊下にも数人で楽しめるソファやひとり掛けの椅子等が設置されている。床暖房の設置、浴室も広く窓の外に見える和風の小庭、その他共有空間の総てがゆとりの広さや癒しの場があり、居心地良く過ごせるような工夫をしている。	
55		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	皆で集まってお茶を飲んだりする場所や、廊下のソファでお一人で過ごせる場所や事務所などで静かになれる場所等の工夫をしている。		
56	(23)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は入居時出来るだけ馴染みの家具などを持って来ていただくように話しているが、ご家族が新しく買われた家具も多い気がする。長く住んでおられる間に馴染みのものが増えてきたようだ。	どの居室も広くて明るく、トイレや洗面台の設置もあり、クローゼットも十分収納ができる。緊急時の対応ができるようにナースコールも設置している。利用者はそれぞれに使い慣れた家具や日用品を持ち込み、安心して居心地良く過ごせる居室になっている。	
57		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物はバリアフリーで安全でゆったりと過ごせるように出来ている。廊下が長いので良い運動になる。		